

## 研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学脳神経外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 2月

福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座 藤井正純

### ■ 研究課題名

---

献体遺体の前臨床解剖による新規脳神経外科手術アプローチの開発研究

### ■ 研究期間

---

2026年2月～2030年12月

### ■ 研究の目的・意義

---

脳神経外科では、脳の病気に対して日々様々な手術を行います。しかし、現在の手術方法では、病変への到達がいまだに難しい場合や、後遺症の危険など問題があります。特に脳は、非常に重要な臓器のため、周囲の脳や神経、重要な血管を傷つけずに、病気を治す目的を達成する事が難しい場合があります。また、長時間の手術や、広い範囲に手術創が必要な場合もあり、患者さんにとって大きな負担になるような手術があります。一方で、最近では、従来用いていた手術顕微鏡だけでなく、内視鏡や外視鏡など新しい光学機器が臨床現場で使えるようになり、より有効かつ安全で、負担の少ない手術法が行えると期待されています。この研究では、新しい手術方法（手術アプローチ）を開発することで、脳神経外科手術を受ける患者さんにより良い医療を届けられるようにすることを目的としています。現在提唱されている手術アプローチについて課題を再度検討しつつ、新たな手術アプローチを考案するという事が私たちのテーマです。模型やシミュレーションでは決して正確に手術法を評価することができず、献体を用いた臨床解剖を行って研究する必要がある、非常に重要な研究だと考えています。

### ■ 研究対象となる方

---

本学の献体登録者団体である志らぎく会の会員の方で、ご本人とご家族のどちらからも臨床応用解剖に同意いただいた方を対象とさせていただきます。

### ■ 研究の方法

---

ご献体後の御遺体と実際の手術機器を用いて、実際に行われている様々な開頭方法、手術アプローチを実践します。通常の手術と同様に、最後は骨を戻し皮膚を縫合し終了いたします。

## ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年3月1日

## ■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学脳神経外科学講座であり、研究責任者は脳神経外科学講座 藤井正純です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大脳神経外科学講座で利用し解析を行います。

## ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

## ■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、ご遺族または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でもご遺族または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

### 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座 担当：長井健一郎

電話：024-547-1268 FAX：024-547-1803

e-mail：longwell@fmu.ac.jp